



令和2年12月15日（火）
幼保連携型認定こども園 津田このみ学園

0・1・2歳児

12がつ すくすくだより

寒さが身に染みる季節になりました。朝夕の冷え込みとは一転、日中の太陽がでている時間はあたたかく感じることもあり、透き通った青空の下でボール遊びや追いかけっこをしていると体がポカポカしてきます。しかし北風がふいたり日陰に入ったりすると「さむい！」と子どもの声が聞こえ、体感が変わることに気が付いています。防寒対策をしながら寒い冬を楽しみたいです。

着替え等の持ち物について

12月24日（木）に園においてある持ち物をすべて持ち帰ります。持ち物に間違いがないかご確認ください。またすべてのものに名前の記入をして、1月7日（木）に持ってきてください。
※希望保育を申し込みの方は毎日必要な分の着替えやオムツをカバンに入れて登園ください。連絡帳は不要です。



【ひよこぐみ】

天気の良い日には畑や近くの公園まで散歩にいきます。そのときに落ちている葉っぱや枝やどんぐりを大切そうに持ち帰ります。落ちている自然物も子どもたちにとってはとても大事な宝物です。そんな宝物を使って、何か楽しいことはできないかと考えました。

持ち帰った自然物を使って、紙粘土に飾りつけをし、ケーキ作りをしました。指先でどんぐりを紙粘土に押し付けますが、紙粘土が硬くてなかなかうまくつかないこともありました。指がプルプルと震えるくらい指先に力を入れると、どんぐりが滑って転がってしまうことも。それを見ていた友達に「がんばれー！」と応援されながらケーキ作りを完成させました。



普段から、ままごとコーナーで料理を作ったり「ハッピーバースデー🎵」とケーキを食べたり真似っこ遊びをしている子どもたちは、自分で手作りのケーキを使ってままごと遊びができ、楽しいひとときとなりました。

できあがり



【あひるぐみ】

街にはクリスマスソングが溢れる12月…あひるぐみの保育室でもかわいい歌声が響きます。普段から、歌うことの好きな子ども達は散歩に出かけるときやトイレにいるときにも鼻歌を歌っています。



秋に拾ったどんぐりや枝とペットボトルを使って手作りマラカスを作ると、もう歌声はとまりません。マラカス片手に歌いだし、部屋中はまるでコンサート会場です。ステージやマイクを準備すると、気分は絶好調で、テレビでみたことのある歌手になりきって歌いはじめ、コンサートごっこが始まりました。初めは恥ずかしそうにしていた子も友達と一緒に歌うといつのまにか雰囲気のみこまれ、いつしか気分はアイドルです。スカートを履いたりリボンをつけたりかわいい衣装も身につけ「どんぐりコロコロ」や「とんぼのめがね」「まつぼっくり」など知っている曲を繰り返しました。



次の週にはタンブリンや鈴、マラカス等の本物の楽器を用意しました。楽器によって音が違うことに気が付き、叩いたり振ったりして音の違いを比べていました。手作り楽器に加え、本物の楽器も使って、ステージに立つと「今からどんぐりを歌います」と司会を始める子もでてきました。そして歌い終わるとおじぎをしてステージからおりる子も。

毎日満員御礼のコンサートが開催されています。このみ学園からスターが出るのもそう遠くはないかもしれません。



【りすぐみ】

ともだち、大好き♡

入園して、早い子であれば半年…
おうちの方以外の人と過ごすのは初めての経験かと思います。入園当初は保育者に抱かれ、あやしてもらいながら過ごしていましたが、今では友達の存在が気になり、遊んでいる子を見つけたら、ついつい一緒にしたくなるようです。



ある日、一人の子が三段ボックスのおもちゃを全部引っ張り出し、棚の中にすっぽり入りました。するとそれを見つけたほかの子も真似をして、それぞれの棚に1人ずつ、3人みんなで入ります。トンと壁をノックする仕草はまるでお隣さんとお話しているかのよう。りすぐみの保育室には他に段ボールハウスもあり、集合団地です。

